

➤ 届出制度の目的

化審法では、従来の化学物質の有害性のみに着目したハザードベースの管理から、人や環境中の生物が化学物質に暴露される量(環境排出量)を加味したリスクベースの管理へ移行しており、暴露量を把握するために一般化学物質の製造数量等の届出を事業者に求めています。

➤ NITEの役割

- ・説明会の開催(全国で31回開催。参加事業者は約1,200事業者)
- ・問い合わせへの対応(約1,400件)
- ・官報整理番号とCAS番号の対応情報整備(約8万件)
- ・届け出られた情報の内容チェック、製造輸入数量等の集計及び暴露クラス付与(約3万件)
- ・スクリーニング評価の実施(厚生労働省、経済産業省及び環境省とともに実施)

届出基本情報

届出される主な情報

- ・物質名称
- ・官報整理番号
- ・CAS番号
- ・製造数量及び輸入数量
- ・出荷数量
- ・出荷に係る用途情報

平成23年度届出実績

- ・届出数: 31,301件
- ・届出者数: 1,422社
- ・届出物質数
 - ①官報整理番号単位: 6,813物質
 - ②評価物質単位: 10,792物質

届出情報がどのように使われるか

化審法のスクリーニング評価では暴露クラスと有害性クラスを用いて優先評価化学物質の選定を実施しています。届け出られた一般化学物質の製造数量等は暴露クラスの算出に用いられています。

$$\text{人の健康の評価用の全国合計排出量} = \sum_{\text{事業者}} \{ (A+B) + \sum_{\text{用途}} (C+D) \}$$

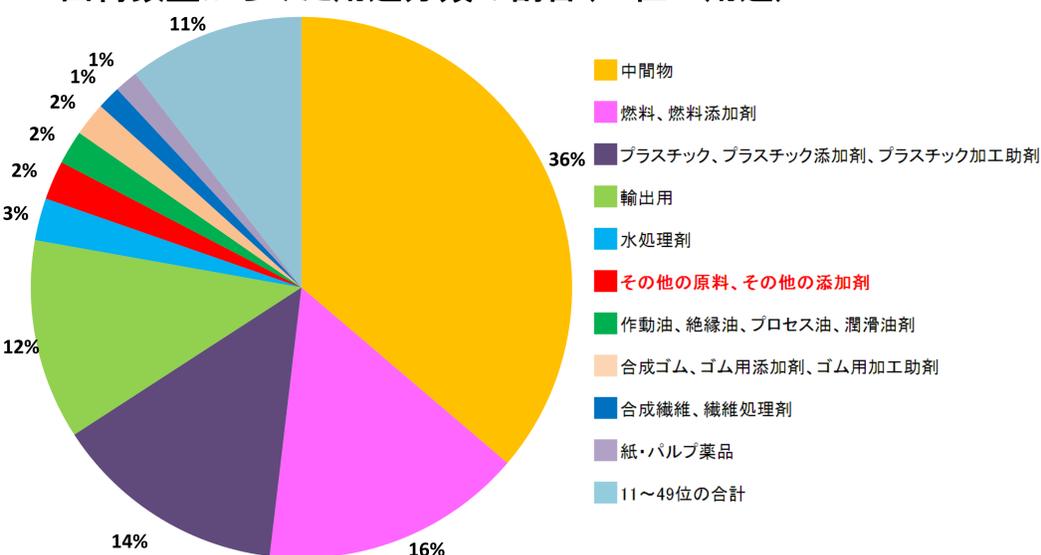
$$\text{生態の評価用の水域への全国合計排出量} = \sum_{\text{事業者}} (B + \sum_{\text{用途}} D)$$

- A=製造数量×製造段階の大気への排出係数
- B=製造数量×製造段階の水域への排出係数
- C=用途別出荷数量×用途別の大気へのスクリーニング排出係数
- D=用途別出荷数量×用途別の水域へのスクリーニング排出係数

届け出られた用途分類の概要

用途の割合

出荷数量からみた用途分類の割合(上位10用途)



具体的用途記載事項の傾向

「その他の溶剤」又は「その他の原料、その他の添加剤」に届出がされたときに記載される「具体的用途」の内容を6つのグループ別に集計しました。

| グループ名称 | 該当数 | 具体的用途に記載があった主なキーワードなど |
|--------------------------------------|-----|-------------------------|
| ①具体的用途に係る記載がない | 312 | 不明 非公開 融通 転売 蔵置 |
| ②「中間物」に該当する可能性あり | 99 | 〇〇原料 回収 副生成 精錬 中間体 |
| ③他の用途に該当する可能性あり | 136 | (用途名) (機能名) (複数の用途名) |
| ④他法令で規制されている特定用途に該当し、届出の適用除外となる可能性あり | 200 | 化粧品 医療 農薬 (特定用途に該当する名称) |
| ⑤試験研究用に該当し、届出が不要となる可能性あり | 45 | 試薬 サンプル 分析用 実験 〇〇学 |
| ⑥グループ④、⑤以外の理由で届出が不要となる可能性あり | 20 | 廃棄 自社内中間物 |

1. 「その他の溶剤」又は「その他の原料、その他の添加剤」が占める割合は約2%ですが、スクリーニング排出係数が『1』(全量排出)であり、暴露クラスへ及ぼす影響は大きいため適切な届出が求められます。
2. 「具体的用途」の②、③のグループは他の用途分類で届け出ることが適切である可能性が高いと考えられます。
3. 「具体的用途」の④、⑤、⑥のグループについては、届出が不要となる可能性が高いと考えられます。

製造・輸入数量一例

| 官報整理番号 | 名称 | 製造・輸入数量(t) |
|--------|----------|------------|
| 1-168 | 一酸化炭素 | 10,000,000 |
| 2-13 | プロピレン | 6,000,000 |
| 1-430 | 硫酸 | 5,000,000 |
| 2-12 | エチレン | 5,000,000 |
| 3-3 | キシレン | 5,000,000 |
| 1-410 | 水酸化ナトリウム | 3,000,000 |
| 2-1 | メタン | 3,000,000 |

※経済産業省HP「一般化学物質等の製造・輸入数量(22年度実績)について(公表)」から抜粋

スクリーニング評価に用いる優先度マトリックス

| | | 有害性クラス | | | | |
|----------------|-----------------|-------------------|----|---|---|---|
| | | 強 | ←→ | | | 弱 |
| 括弧内の数量：全国合計排出量 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 外 |
| 暴露クラス | 大 | 1 (>10000t) | 高 | 高 | 高 | 高 |
| | ↑ | 2 (1000t~≤10000t) | 高 | 高 | 高 | 中 |
| | 3 (100t~≤1000t) | 高 | 高 | 中 | 中 | |
| | 4 (10t~≤100t) | 高 | 中 | 中 | 低 | |
| | ↓ | 5 (1t~≤10t) | 中 | 中 | 低 | 低 |
| 小 | 外 (≤1t) | クラス外 | | | | |

※優先度「高」のものが優先評価化学物質に選定される。また、優先度「中」又は「低」のものは専門家の判断により、優先評価化学物質に選定される。